



輸入粗飼料価格高騰対策支援事業のお知らせ

～飼料自給率の向上等に取り組む酪農家を支援します～

ウクライナ情勢等に伴う輸入粗飼料価格の高騰の影響を受けて、生産コストが上昇している酪農経営の現状に鑑み、**生産コスト削減や飼料自給率の向上に取り組む酪農家**の経営継続を下支えするために**県独自に支援**するものです。

補助対象者

- 畜産クラスター協議会に参画し、生産コスト削減や国産粗飼料の利用拡大に取り組む酪農家
- 国の「国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業」で、参加要件として規定されている取組メニューに取り組む者(以下に取組メニューの一例)

補助金額等

- 補助対象：令和5年4月から令和6年3月までの輸入粗飼料価格の高騰によるコスト上昇分の一部
- 補助金額：**乳用牛※A 1頭あたり13,000円**以内(令和5年4月1日の頭数※B)
ただし、本事業と同様の国事業が措置された場合は差し引く
- ※A：本事業における乳用牛とは、乳用種の雌牛を表す。
- ※B：交付対象頭数(令和5年4月1日時点の飼養頭数)の確認に牛個体識別全国データベースを利用しますので、**異動の届出等の報告に漏れないよう御留意**ください。

参加要件

生産コスト削減メニュー

- 県産粗飼料の作付面積の拡大
- 国産飼料の販売・流通量の増加
- 県産牧草の給与割合の増加
- エコフィードの割合の増加
- 事故率低減のための削蹄の実施
- 外壁や屋根材に耐熱性素材の使用
- 和牛精液や和牛受精卵の活用
- 牛群検定の活用 など

配合飼料の使用量低減メニュー

- 輸入粗飼料の一部を県産に置換
- 青刈りとうもろこしの使用量増加
- 国産粗飼料の使用量増加
- エサ寄せロボットの活用
- 自動給餌機の活用
- 多回給餌 など

※ ■を2つ以上及び□を2つ以上選択すること。

ご不明な点がございましたら、事業実施主体または山口県畜産振興課にお問い合わせください。

